2021年度事業報告

（2021年４月１日～2022年３月31日）

概　　況

世界的規模で感染症が拡大を続け、早くも２年の月日が経過しました。2021年度も多くの事業が中止や延期となり、人々が集うことができない状況が続きましたが、リモート等を活用した会議が定着し、対面での講習会等も徐々に増え一筋の明るい光が見え始めてきました。また、新しい日常生活に寄り添える事業等の実施を念頭に、前年に比べ、フラワーデザインを通じた社会貢献の輪を少しずつではありますが広げられた一年となりました。国民のさらなる豊かな生活への一助とすることができるよう、本会は活動を継続してまいります。

７月から９月にかけて行われた東京2020オリンピック・パラリンピックでは、ビクトリーブーケを贈呈した日本花き振興協議会の構成団体として、本会も深く関与することができました。ブーケの制作や、大会会場でのブーケ管理等、ボランティアの皆さまの活躍に対し、心より御礼申し上げます。

10月より実施可能となりました公認校主催資格検定試験での１級受験制度が徐々に活用され、受験者数も半年の間に50名を大きく上回り、公認校運営の活力の一つとなりました。

８年目となった「花の宅配便事業」は全国の盲学校等に通う方々の授業の一環として、生の花に触れていただく事業です。感染症拡大等の影響により中止となった学校もありましたが全国22校で開催することができました。ボランティアとしてご協力いただいた各地域のフラワーデザイナーの皆さまには心より感謝申し上げます。

３月にはフォト作品による「第17回NFD全国高校生フラワーデザインコンテスト」が開催され、高校生の瑞々しい感性、創造性を発揮いただくことができました。

感染症拡大の影響より、本会以外が主催する事業も中止が相次ぎました。三重県で予定しておりました「全国障害者スポーツ大会」は中止となりましたが、今後もパラアスリートの活躍を花で後押しする支援活動を続けてまいります。

オンラインも含め、全国７か所で行われた公認校意見交換会では、多くの主宰者の方々からさまざまなご意見を伺うことができました。今後の協会運営の向上のため有意義に活用させていただきます。

感染症の拡大や国際的な紛争など、混沌とした一年間でしたが、皆さまのフラワーデザイン活動が、少しでも社会を明るく照らし、人々の心がより豊かになるお手伝いができるよう、さまざまな事業を展開してまいります。

皆さまのますますのご理解とご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長　西村　好正

各部・委員会報告

部会

総務部（花の図書委員会を含む）＜部長：森万代子／担当理事：副島正英＞

出口の見えないコロナ禍において、本部・支部事業が未だ十分に実施できていないことから、昨年度行った緩和措置を一層推し進め、2022・2023年度のNFD講師・本部講師の更新単位を不要とする決定をしました。それと同時に、従来は直前の登録期間内に取得した単位しか更新で使用できなかったものを、2020年4月以降に取得した単位については無期限で使用可能とし、計画的に単位を取得いただけるようにしました。

また、退会した方に再び会員に戻っていただきやすくするため再入会するための二つの条件を緩和しました。まず「技術確認研修」参加による再入会については、本部試験会場だけでなく公認校でも実施、参加できるようにしました。もう一方の退会期間中の年会費全額分納入による再入会については、退会経過年数の制限を撤廃しました。

その他、引き続き法令、現状に応じた諸規程の改正、整備をはじめ、他団体からの後援等の申請、賞交付申請、審査員派遣申請に関する審査を行いました。

花の図書委員会では、会報誌「フラワーデザイナー」の“本の虫”での蔵書紹介を行い、ホームページにて蔵書一覧やサービスの概要を紹介しています。現在の蔵書数は、寄贈本も含め3,142冊です。現在、閲覧サービスは休止していますが、宅配便による貸出、寄贈受付は実施しています。

会員数（2022年3月31日現在）　（人）

	正会員					準会員	特別会員	賛助会員	合計
	計	1級		2級	3級				
		講師							
国内	15,898	8,061	3,656	2,121	2,060	250	176	16	16,340
海外	167	55	24	39	49	1	0	0	168
合計	16,065	8,116	3,680	2,160	2,109	251	176	16	16,508

NFD講師の数（2022年3月31日現在）　（人）

	北海道	東北	関東甲信越	東京	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	海外	合計
特別名誉本部講師	0	0	1	1	0	1	0	1	0	4
名誉本部講師	12	27	84	53	70	107	39	41	0	433
本部講師	24	43	189	90	140	147	94	57	1	785
NFD講師	166	394	1,551	814	1,345	1,299	701	570	54	6,894
合計	202	464	1,825	958	1,555	1,554	834	669	55	8,116

財務部（助成運営委員会を含む）＜部長：渡辺紀子／担当理事：木村美智子＞

予算執行状況及び決算予測を定期的に理事会へ報告しました。年度予算作成については、集計スケジュール、集計方法、集計結果を経営委員会へ提出しました。

助成事業「NFD one leaf fund」は目的や効果、事業の継続について見直し中のため募集を休止しました。

会員組織部＜部長：加藤浩美／担当理事：斯波直美＞

コロナ禍が続く中、多くの支部総会を含む支部事業は中止や延期を余儀なくされました。

７月～８月にかけて、ブロック別支部研修会を全国７ブロックで開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を行い、本部施策説明、支部会計処理方法などの説明を行いました。

10月に三重県で開催予定だった「第21回全国障害者スポーツ大会」は、感染症拡大防止のため中止となり、それに伴い贈呈するビクトリーブーケ制作も中止しました。

10月～３月にかけて、前年度より延期となっていた公認校意見交換会を全国７ブロックで開催しました。数多くの意見や要望を協会施策に反映するため検討を行っています。

その他、昨年度より引き続き実施している、初心者を対象とした講習会の花材費（一部）助成事業「今だからこそ、花を力に」プロジェクトを行い、花にふれた喜びの声が多数寄せられています。

公認校応援事業「花とともにプロジェクト」も、引き続き、花育講習会およびプレゼント事業を対象として実施しました。

資格検定部＜部長：今野政代／担当理事：的場ゆかり＞

フラワーデザイナー資格検定試験に関わる事業、「フラワーデザイナー資格検定試験」、「審査研修会」、「審査員新規登録選考会」、「NFD講師新規登録講習会」、「指導者育成ゼミ」、「審査員新規受験者のための研修会」、「コサージ講習会（オンライン）」、ベーシックマスターコースおよびウエディングフラワーコースの「インストラクター講習会」を実施しました。コロナ禍の中、10月１日より公認校主催１級試験が実施可能となり、受験生にとってより受験しやすい制度となりました。

事業部＜部長：上原真理子／担当理事：長谷川栄作＞

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、計画されていたほとんどの講習会は開催が中止となりました。

そのなかで、感染状況の悪化から二度にわたり延期となっていた「景色盆栽講習会」は、感染対策を講じた上で、ようやく東京、大阪での開催にいたりました。

また、「第17回NFD全国高校生フラワーデザインコンテスト」も、一時、開催が危ぶまれましたが、多くの要望に応え、開催方式をフォトコンテストに変更することで開催が実現しました。高校生が若い感性と創造性を発揮する機会を提供しました。

昨年度は、やむを得ず中止となった事業が多かったため、今年度に向けての準備を進めてきました。

広報部＜部長：林喜久江／担当理事：内山友樹＞

昨年度はスペシャルエディションの発行を中止し、会報誌「フラワーデザイナー」を５回から６回に変更し発行しました。 会報誌に掲載した作品とその制作過程をYouTubeにUPし、動画と連携して、より詳しくフラワーデザインを学べる機会を設けました。

昨年開催された「NFDグランプリ2021」も、録画・編集して改めてYouTubeで配信したところ、多くの方に見ていただくことができました。昨年度は、このように動画を活用した広報を展開していくことで、NFDのYouTube登録者の増加に貢献しました。

また、３月には全国版の新聞広告にて“フラワーデザインを学ぶならNFD”と、広

く一般の方にもNFDをお知らせしたところ、この直後のホームページのアクセス数が増えました。それから、TVの花特集などにも協力し、協会名を露出しました。

委員会

国際交流委員会＜委員長：西村好正／委員：上原真理子＞

2021年度も引き続いてのコロナ禍により、海外を対象とする事業については行うことができませんでした。また、１年延期されて2024年に開催予定であった、ニュージーランド・オークランドでの「第14回ＷＡＦＡ世界大会」は残念ながら中止が決定されました（次期ホスト国は現時点で未決定です）。

台湾花芸家協会との交流では、資格検定試験、講師新規登録講習会、総大会全てが中止となりました。

花とともに委員会＜委員長：林喜久江／委員：斯波直美＞

「花の宅配便事業」は、８年目を迎え、コロナ禍でも実施できる方法を模索し、地域や学校の状況に合わせた感染症予防対策を講じて22校で実施しました。子どもたちの豊かな情操を育む年間行事として定着してきています。ボランティアや協力団体、企業の皆さまあっての事業として、学校や生徒とご家族の方から多くの感謝の言葉が寄せられています。また、子どもたちに花の世界の驚きや発見を伝えられる活動に、花を愛するボランティアの皆さまから嬉しい声も多数寄せられました。

「卒業生応援プロジェクト」は、2019年に発生した自然災害の被災地となった福島県と一昨年度に引き続き北海道、岡山県、広島県、愛媛県の中学校など28校へ、卒業生の胸を飾るコサージを合計１,898個寄贈しました。コサージは、制作から送付までをお申し込みいただいた公認校の先生方が行いました。その心のこもったコサージに、各学校から、感謝の手紙やコサージを胸にした卒業生のはじける笑顔の写真が届きました。

12月10日の「NFD花の日」は、「それぞれの“ありがとう”」をキャッチフレーズに、多くの皆さまにより全国各地で福祉施設や学校など、さまざまな施設へフラワーデザインが届けられました。“以前贈った作品が大切に保管されていた”“介護施設の入所者の方に作品を抱えて喜んでもらえた”など心温まるエピソードも寄せられています。また、ハッシュタグ「＃nfd花の日」のついたInstagramに投稿された作品をシェアし、花の日の普及活動に努めました。毎年この日を心待ちにしている方も多く、活動の輪が広がっています。

「ビクトリーブーケ贈呈事業」は、11月に２年ぶりに開催されたパラ卓球選手権大会（大阪）にボランティアにより制作された83個のビクトリーブーケを贈呈しました。ブーケを手にした笑顔の選手の様子をSNSで配信しました。その他予定されていた大会は中止となりました。

「東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業」は、ビクトリーブーケ制作を担当する日本花き振興協議会の構成団体として関わりました。

資格検定試験基準改正委員会＜委員長：西村好正／
委員：上原真理子・今野政代・渡辺紀子＞

引き続きのコロナ禍のため委員会としての単独の開催はなく、オンラインでの三役会などの際に新しい生活様式にあわせたフラワーデザイナー資格検定試験制度につき検討しました。

技術委員会＜委員長：西村好正＞
（花ファッショントレンド検討会議メンバー：畑吏江・石川すみえ・川原陽一郎・伊藤史江・豊田恵子・内藤育子）

「シーズナルレッスン」は引き続きのコロナ禍のため受講人数を定員の半分以下にするなどの感染症対策を講じた上でクリスマスを東京、大阪、名古屋で、スプリングを東京、大阪で実施、会報誌「フラワーデザイナー」誌上の“花ファッショントレンドArts & Crafts”やホームページでの「花ファッショントレンド通信」などで花ファッショントレンドを発信しました。

また、花ファッションデザインチーム内のトレンドの共通認識を図るための水準調整会をオンラインで実施しました。

デジタルPR委員会＜委員長：西村好正＞

花やフラワーデザインの魅力を広く伝えるため、YouTubeとSNS（Facebook、Instagram、Twitter）を通じて、「アクセサリー」動画6本、フラワーキャンドルと小さなフラワーデザインを紹介する「Spending Time with Flowers」動画4本、花を贈ろうとのメッセージを込めた花束のイメージ動画2本、気軽に楽しめるフラワーデザインを紹介する「季節を彩るミニレッスン」（会員向け無料動画）2本を配信しました。また、ハッシュタグ「＃NFD花の力」のついた素敵なInstagram投稿作品をシェアし、花の力をかりてコロナ禍の大変な状況を乗り越えていきましょうとのメッセージを発信しました。その他、メールマガジンを24本配信し、花に関する情報発信やNFDのイベント情報などのPRに努めました。

資格認定委員会＜委員長：西村好正／委員：上原真理子・今野政代・渡辺紀子・森万代子・加藤浩美・林喜久江＞

正会員の再入会、公認校および講師資格の新規登録、更新、修了証（ディプロマ）事業インストラクター登録、試験審査員・コンテスト審査員の新規登録等の承認を行いました。今後も適正、公正な認定機関としての委員会運営を推進します。

コンプライアンス委員会＜委員長：渡辺紀子／委員：森万代子・出口晃・大島誠・山﨑修＞

コンプライアンスに関連する相談・連絡への対応について、協議を行い、関連規程の確認を行いました。